

平成 26 年 3 月 26 日

福岡県医師会  
会長 松田 峻一 良 殿

広報委員会  
委員長 山根 勲

## 答 申

広報委員会では、貴職からの諮問「会内広報充実のため、および会員ネットワーク発展のために必要な情報の検討」について、鋭意検討してまいりました。  
この度、委員会の見解を別紙のとおり取りまとめましたので答申いたします。

広報委員会  
委員長 山 根 勲  
委 員 高 嶋 雅 樹  
青 柳 明 彦  
津 村 和 孝  
三ツ木 健 二  
宮 崎 純 郎  
松 山 ちあき  
原 祐 一  
長 野 英 嗣  
山 家 滋  
山 本 英 彦

## 1. はじめに

前期の広報委員会で穴井前委員長を中心にさまざまな具体的な広報活動の拡充策が既に提案されていたため今回はそれを基に実現可能なアイデアを順次実行に移しました。

つまり通常、諮問とは部下が「上司からの問いに答える」事であるので一部異例な内容の答申となりそうです。

但し大前提として全ての会員に反応して貰える事は費用対効果面も含めて不可能と判断した上で広報活動を充実させることとしました。

## 2. Facebook 運用の状況と課題について

市民生活にとって、ソーシャルメディアはなくてはならない情報ツールであり、その中でも情報発信元が明確で信頼性が高いメディアとして Facebook の活用は医師会の情報発信ならびに医師会に対する県民の認知・理解促進につながる有効な手段だと考え、今回、福岡県医師会の Facebook ページを開設し運用を開始しました。

当初より順調に「ファン（登録をした固定読者）」の数は増加し、45~54歳の男性が中心で会員特性と一致、福岡県医師会が発信する信頼性の高い情報として若手医師や多くの県民に歓迎されていると推察されます。また、画像などを掲載すると明らかにアクセス数が増加し、ひと目で伝わる判り易い情報として好まれる傾向にあり、画像や動画などを簡単な操作で掲載できるのも特徴であります。インターネット白書 2013 によると、日本国内で 5060 万人がソーシャルメディアを利用しており、Facebook を閲覧する会員の性質やタイプは限られているものの、導入・維持コストは無料で、一定の効果が期待できる有力なツールであると考えます。さらに今後、この情報発信ツールの活用を拡大するには医師会員の積極的な Facebook 参加も必要と考えます。

## 3. 作文コンクールについて

日医とは別に県独自で小中高生および一般県民を対象にした（タイトル未定）作文コンクールを創設します。景品は学生には図書券、県民には現金で提供することとし、身近な出来ごとを重視した企画とします。

#### 4. 県民医療情報誌の進捗状況について

初の取り組みとして、県民医療情報誌を創刊します。市の医師会ではとん挫したものも少なくないため慎重な情報収集と準備、検討が不可欠であるためその実現は次期広報委員会に継承していただきたいと思えます。

#### 5. 動画配信について

会員に対し医師会の活動内容や存在意義（さらにはそもそも所属する意義）をもっと周知しなくてはならない状況にあります。従来は活字のみの情報では限界があり会報を開きもせず「ゴミ箱直行」状態の会員が相当数いるのは明らかです。しかしながら、生活の中で情報メディアとして慣れ親しんでいる“動画”の情報であれば、クリックし取りあえず“見る”という行為も期待できると推測され、医師会情報の動画配信を考えました。まずは定例記者会見を撮影編集し「FMA ニュース」というタイトルでホームページ・Facebook 上で視聴できるように試みます。その結果、情報発信のひとつの試金石となることは間違いありません。もし反応が良ければこの答申もいずれ動画にしたいほどです。

#### 6. メディペチャについて

実施して10年経ちます。初期の頃と内容は少し変わりましたが、参加したモニターの初回での医療全般に対する意見の60%~70%がまだまだ情報不足と誤解の域を抜けていませんし、医師会の活動に対する具体的な認知・理解が殆ど皆無の状態はこの10年間変わっていません。2回、3回と直接対話や議論の中で、参加モニターのほぼ全員が医療全般や医師会に対する認知・理解促進がなされていくので、限定的ではありますがそれなりの効果はあると思えます。しかしながら、年間40人という人数が限られていること、モニターが持つ情報不足や誤解は思い込みやすり込みなので、医師会からの一方的な情報発信・伝達では解消できないのも事実です。

よって、メディペチャは10年目の過渡期であることは間違いありません。今後、この活動を通して医師会活動に対する県民の理解を促進していくには、モニター制度の実施内容・方法の再検討と400人を超えるモニター卒業生の活用を検討する必要があると考えます。

## 7. まとめ

今回 Facebook を始めとした複数の新規広報活動の新設に着手しました。最も当委員会で期待しているのはメッセージの可視化と音声化です。これにより新たな「もの申す」会員が1人でも増えれば幸いです。以前から各界より医師会は若手が育ちにくい土壌であるとの指摘を受け続けて久しいですが、若い層を軽んじてばかりでは医師会の展望は厳しいと思われるので今後も試行錯誤を重ねていくのが重要であろうと思います。